

第38回 理科サロン



脳とアート

大阪大学名誉教授 (医学系研究科)

佐藤 宏道氏

私は視覚系の神経生理学（脳科学）を研究の専門分野にしてきましたが、他方で大学の教養の講義や一般の人たち向けにも脳や心について親しみやすいテーマについて話す機会が多くありました。今回10年ぶりに理科サロンで話をします。

今回のサロンでは特にアート作品を見ながら「ものを見るという人間の営み」について解説し、脳の働き方について考えて戴きます。

- 1) 脳を見てみよう…脳の働き方、
 - 2) 先史時代の洞窟壁画…ラスコー洞窟の発見、
 - 3) 近世の絵画…ルネサンス以降、
 - 4) 絵画の色解析…絵画は科学の対象になるか、
 - 5) 筋ジストロフィ患者の絵…青を多用する、
 - 6) どのように考えるか…絵画サヴァンと自閉スペクトラム特性、
- という順番で話します。

* 佐藤先生は視覚と脳による認識を長く研究され、2012年にも「ものを見ることと脳の働き方」と言うタイトルで、お話し下さいました。

日時：10月14日（土）

午後2時～3時半 講演会
(終了後30分程度談話会)

場所：エトレ豊中5階セミナー室

(エトレ2階へは阪急豊中駅から直接
入れます)

参加費：無料 (定員50名先着順)

主催：教育ボランティア「けやきの会」
(電話：06-6857-2562)



至梅田